

(報道機関の皆さまへのお願い)

## 知床岬およびルサ相泊地区におけるエゾシカ捕獲の実施について

&lt;問い合わせ先&gt;

環境省釧路自然環境事務所

統括自然保護企画官 則久 雅司

自然保護官 三宅 悠介

(連絡先) 0154 - 32 - 7500

## 1. 知床岬での取材について

本事業は厳冬期の厳しい条件の中で行うものであり、不確定要素も多いことから、事業の実施に万全を期すために、取材方法(制限)について十分なご理解とご協力をお願いします。

## (1) 捕獲実施期間中

捕獲実施期間中における知床岬周辺の取材は、エゾシカに警戒心を与え捕獲に著しい支障を及ぼすばかりでなく、安全な実施にも著しい支障を及ぼすことから、ヘリや船含め一切行わないでください。

## (2) 捕獲実施前

エゾシカの出没状況などの取材目的の動力船や徒歩による知床岬への上陸は、エゾシカの警戒心を著しく高めることになるため、できるだけ行わないようにしてください。どうしても上陸する場合、上陸の際にはエゾシカを追い回すなどの攪乱を招くことがないようにしてください。

ヘリなどの航空機材を用いて行う取材は、エゾシカの警戒心を高めることのないようできるだけ陸地の上空への侵入は避け、離れた海上から撮影を行うようお願いいたします。どうしても陸地に近づく際には、海岸線から300m以内の海上、及び陸地の上空300m以下の飛行は行わないようにしてください。また、300m離れた場所からの取材であっても、エゾシカが走って逃げるなど、警戒を示した際には直ちに現場から離れるようお願いいたします。

捕獲実施時期の詳細については、釧路自然環境事務所までお問い合わせください。作業船等への同乗は定員の関係上出来ませんが、出発時及び帰着時の取材は可能ですので、ご希望の場合はご連絡をお願いします(従事者個人が特定できるような映像は撮らないようご配慮願います。)

## 2. ルサ相泊地区での取材について

ルサ相泊地区においては、釧路自然環境事務所の事業として、シャープシューティング(捕獲等の経験により警戒心が高まる個体が発生しないよう、餌付けを実施したうえで、少人数により捕獲を実施し、一度の捕獲で少数の群れの全頭を捕獲する手法)の試行を実施しています。シャープシューティングの実施に際し、取材のため多くの方が不定期に立ち入ることは、エゾシカの警戒心に作用し、科学的なデータの収集が困難になることが予想されるとともに、銃器を用いた捕獲手法であり安全確保にも支障を及ぼすおそれがあります。そのため、取材を目的としたルサ相泊地区への立ち入りはご遠慮いただくよう、ご協力をお願いします。

取材は、後日ご連絡する日時(1月中旬～下旬を想定)に限っていただきますようお願いいたします。取材可能日については、決まり次第FAXにて情報提供いたします。